

Weekly Report



創立/1986年2月19日 (会長) 島田謙司 (幹事) 村山圭治
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
 HP http://www.toshimah-rc.jp E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1225 回例会 2012 年 1 月 18 日

●本日のプログラム

イニシエーションスピーチ
 西島貞枝会員

●先週の例会報告 2012 年 1 月 11 日

会長報告

- ①米山奨学生鄧飛さんに1月の奨学金をお渡し致します。
- ②タイ・バンコク国際大会において恒例の「日本人親善朝食会」が5月6日にザインペリアルクイーンズパークホテルにて開催されます。
- ③東日本大震災義援金による支援プログラム実施報告がきております。
- ④国際基督大学東ヶ崎潔記念ダイアログハウス御献金へのご協力のお願いがきております。

幹事報告

- ①地区青少年交換委員会より「ホストファミリー募集とファミリーバンク登録のお願い」について、当地区青少年交換委員会では、2012年夏に来日し2013年夏までホームステイで滞在する留学生を迎え入れていただくホストファミリーを募集しており期間は2012年8月中旬から2013年7月中旬帰国までの期間のうち2、3ヶ月ご登録いただける方はご連絡ください。
- ②公益財団法人ロータリー日本財団への寄付金に関する税制度について(個人の寄付金に対する措置)詳細資料は事務局にありますので、お申し出ください。

■ゲスト

駿河台大学現代文化学部教授
 文学博士 ポール・マッカーシー氏
 米山奨学生 鄧飛さん

■出席報告

会員	出席率 参入 会員数	出席数	欠席数	出席率	12月14日分 修正出席率
38名	35名	29名	6名	80.56%	88.89%

●次回のプログラム

イニシエーションスピーチ
 榎田隆治会員

ニコニコ BOX

- 新倉会員** / 新年お目出度ございます。
 年末家族会のとき、八十路の祝で、朱塗りの漆椀をいただき、元旦に用い雑煮を食べました。大きさも手頃で、掌に温もりを感じ、幸で感謝。
- 滝澤会員** / あけましておめでとうございます。
 今月は私と家内の誕生祝いと9年間皆出席の記念品、沢山いただきありがとうございます。帰りは2トン車で帰ります。
- 渡邊会員** / 新年明けましておめでとうございます。
 本年も親睦委員会にご協力の程宜しく御願ひ致します。親睦委員一同より
- 浅原会員** / 新年おめでとうございます。
 又、私の誕生日をお祝いいただきありがとうございます。
 当年(10年)とって、六十五歳となりました。
- 榎田会員** / 新しい年となりました。
 今年も何卒よろしく御願ひ申し上げます。
- 西島会員** / 暮れの宝くじ残念ながら7等賞のみ。

年間100%出席表彰



9年 滝澤会員



3年 村上会員

CLUB NEWS

■第33回バギオ訪問結団式及び説明会

開催日時 / 1月24日(火) 18:00~

場所 / 弘済会館

出席者 / 前川会員 島田会長 村山幹事
 竹内会員 佐々木会員 高崎会員
 月井会員 西島会員



進化するゴルフクラブ

上達の近道はゴルフクラブの進化を知ること
株式会社 フォーティーン
顧問 竹林隆光氏

かつて、ゴルフは「経験のスポーツ」といわれ、「20歳代で芽が出て30歳代で開花する」といわれていましたが、昨今では、石川遼や松山英樹のように10歳代でプロツアーに優勝する若者が出てきます。その一方では60歳で若者に混じって全英オープンで優勝しそうになるシニア選手が出てきたり従来の常識では考えられないことが起きています。

若者がいい成績を出せるのも、シニアゴルファーが頑張れるのもクラブ進化があったからこそ成せることなのです。

女性ゴルファーがゴルフを楽しめるようになったのはクラブの軽量化が進んだからです。

さらに、80歳90歳になってもゴルフを楽しめるのもクラブが進化したからです。

■ ドライバーヘッドの大型化でゴルフがやさしくなった

ドライバーヘッドは大型化の道をたどりました。現在のドライバーヘッドのサイズは430~460ccで、パーシモンヘッドよりも2.5倍も大きくなっているのです。

ヘッドが大きくなるとヘッドの慣性モーメントが大きくなります。そのメリットはミスショットしてもボールの曲がり小さくて済みます。30年前でしたら林に飛び込んでしまうようなミスショットがいまではフェアウェイに止まるほどの差があります。

さらに良いことは、ミスショットしても距離が落ちにくいという効果があります。

「最近練習していないけれどボールが曲がらなくなった」「よく飛んでいる」と悦に行っているゴルファーは、自分を褒める前にクラブを褒めてあげてください。

■ 大型ヘッドもいい事ばかりではなかった。

ゴルファーにとっていい事づくめと思われていた大型ヘッドもヘッドスピードの速いゴルファーにはマイナス面があることがわかって来ました。

大型ヘッドではフェースが開いた状態でインパクトしてプッシュアウトになりやすいのです。

さらに大型化によって重心が深くなるのもジャストミートを難しくしています。

ヘッドスピードの速いゴルファーには極端な大型ヘッドは難しいクラブになってしまいます。ちなみに石川遼選手はだんだんヘッドを小さくして今では385ccの小型ヘッドを使っていると聞いています。

■ ドライバーの距離が伸びたのはドライバーが長くなったから

40年前のドライバーの標準長さは42.5インチ。今年は45.75インチ。3.25インチも長くなっています。個人差はありますが3.25インチの差は18ヤードはよけいに飛んでいることになるのです。

<軽い=飛ぶ>ではなく<軽い⇒長くできる⇒飛ぶ>が正解です。

■ クラブが進化しているのにロングアイアンやミドルアイアンが打てなくなったのは何故？

現在、ほとんどのゴルファーは#3#4番アイアンが打てなくなっています。厳しく言うならば#5番アイアンも打てなくなっています。

その理由は三つあります。

- ① ボールが進化(変化)したためにボールのバックspinが不足。
- ② アイアンクラブのストロングロフト化が進み現在の#5番アイアンは30年前の3番アイアンになってしまった。
- ③ ストロングロフト化したためにロフト角度に対するクラブ長さが短くなったので、ヘッドスピード不足で打てなくなった。

猛練習をしてミート率を上げれば打てるようになると思われていますがそれは間違いです。打てない理由はヘッドスピード不足にあるのです。

そこで、打てないロングアイアンやミドルアイアン問題を解決する方法。

答えは一つ、打てないアイアンは使わないこと。ミドルアイアンやロングアイアンの代りに、ショートウッドといわれる#7番ウッドや#9番ウッドを使いましょう。あるいは女子プロに人気のユーティリティウッドを使うのも良いでしょう。

お知らせ・・・1月の近隣クラブ例会卓話

☆池袋ロータリークラブ

1月12日(木) 18:00～
新年夜間例会

1月19日(木) 12:30～13:30
天からの宿題 2012・壬辰六白金星歳の考察
東洋運勢学会会長・聖徳會会長 源 真里氏

1月26日(木) 12:30～13:30
カンボジア地雷原の現実
慶応義塾大学公認団体 S.A.L
代表 武井裕亮氏

☆池袋西ロータリークラブ

1月16日(月) 12:30～13:30
フレンドシップデー(クラブ会員)
関根憲治氏 蕪木文昭氏 瀧波三男氏

1月23日(月) 12:30～13:30
創客について
クラブ親睦委員長 丸山大策氏

1月30日(月) 12:30～13:30
私の会社は誰が継ぐ?
～事業の承継方法について考える～
クラブ幹事 中里隆重氏



か え り 咲 き の 花 も 見 ゆ	げ に 小 春 日 の の ど け し や	人 は 畑 に 麦 を 踏 む	烏 啼 き て 木 に 高 く	い ま だ 覚 め ず 岸 の 家	た だ 水 鳥 の 声 は し て	舟 に 白 し 朝 の 霜	さ 霧 消 ゆ る 湊 江 の	冬 景 色
--	---	--------------------------------------	--------------------------------------	---	---	---------------------------------	--------------------------------------	-------------

ホームミーティング報告書 第3グループ

リーダー 稲川 一
開催日 平成23年12月5日午後6時30分
開催場所 湖南料理「華湘」
出席者 島田会長、山元、新倉、時友、月井、
西島 稲川
テーマ「3クラブ合併について」

※結論から言って
各クラブでこのまま会員減少が進めば、合併をして
いくというのもひとつの選択肢であることには間違
いないが、安易に合併の方向に走るのではなく、合

併による利点よりも、想定されるいくつかの問題点
を解決しながら、3～4年かけて結論を出すべきであ
る。

※個別の意見として

合併が行われた場合、会員増強の必要性が薄らいで
しまうことが考えられるので、合併してもそこから
また会員減少が起きてしまうのではないかと。

従って、現状では、各クラブとも、クラブ活性化の
ために会員増強を第一に取り組むべきであろう。こ
の考え方は、仮に合併となった場合でも忘れてはな
らない。

事務局のあり方は、各クラブでまったく違ったポジ
ションにあり、豊島東と村田さんのような関係とは
大きな差がある。

各クラブのクラブ基金には様々な事情を抱えたも
のがあるので、整理統合していくのは難しい問題が
生じるのではないかと。かなりの時間をかけた議論が
必要。

豊島東としては、鈴木会員から大きな寄付を受けた
年だけにタイミングが良くない。あくまでも、将来
への検討事項としてとらえるのがいいだろう。

※・・・とは言っても、現実の問題として会員減少や
財政面から見て、クラブ奉仕や奉仕活動、親睦
のためのクラブライフに支障が出ているのも確
かなので・・・

提案として、3クラブ合同で実施したほうが良いと
思われるものは、すぐにでも計画していいのではな
いか。

1. 各種同好会の連携

ゴルフ同好会

グルメの会等邦楽同好会などは、3クラブ合
同で開催していた。

2. 3クラブ合同例会を数回行う

今年のカバナー訪問の際実施したような、3
クラブ合同例会を各クラブ持ち回りでホスト
クラブとなりそれぞれの会場でおこなう。

各クラブが年に1～2回担当する。

3. ひとつのクラブが継続的にやっている奉仕活動 を、3クラブの会員が運営に協力する。あるい は、3クラブ合同で行う事業を計画する。

これらを行うことにより、3クラブの会員同士の懇
親と懇談により親睦の輪が広がり、合併に近い効果
が現れるのではないかと。

その経緯を見た上で、合併に対する議論をしていっ
ても遅くはない。



ホームミーティング報告書 第4グループ

リーダー 今田拓男
開催日 平成23年12月28日午後6時00分
開催場所 イタリアン「オット」
出席者 島田会長、前川、斉藤、佐野、月井、
滝澤 今田

テーマ 「3クラブ合併について」
はじめに、本日のテーマ（3クラブの合併について）の話を提案者の前川会員からしてもらい、それから出席会員から発言してもらいました。11月2日の例会で前川会員の卓話を聞いていたのと、再度話をしてもらい、出席会員は合併については理解しているようで、賛同の意見が多く、反対意見はありませんでした。ただ、最近、鈴木利貞会員からクラブに大口の寄付金があったので財政面で当分心配がなくなり、それと会員皆さんがいわゆるいろいろな面ですばらしいクラブなので合併は急がなくても良いのではないかという意見もありました。本日のミーティングのまとめとして、議論の場を再度もって、結論を急がないで、大多数の会員が理解し、賛成を得て、合併に向けて進めるのが良いのではないかと。以上簡単ですが報告とします。



ホームミーティング報告書 第5グループ

リーダー 渡邊裕之
開催日 平成23年11月24日午後6時30分
開催場所 ホテルメトロポリタン「桂林」
出席者 村山幹事、竹内、高崎、澤田、吉田
渡邊

テーマ 「3クラブ合併について」
前川会員より提議された合併問題について説明

- ・どこのクラブでも、会員数が少なくなると本来の委員会活動が出来ないのではないかと？
- ・時間をかけて進める必要がある。
- ・ロータリー手続要覧でも、会員数が20名以下であると合併をすることを勧めている。
- ・当クラブでは、会員増強がされているが、全体としては厳しいのが現実。
- ・クラブの運営上では、会員数が50名という事がクラブ運営上、損益分岐点ではないかと？
- ・合併する事によって、逆に減少するのではないかと当クラブの雰囲気が好きだと思っている会員が

- 多いはず。
- ・合併をすると、おのずと親クラブである池袋ロータリークラブが主体で進めるのでは？
- ・他クラブから移って来たが、当クラブは雰囲気は他のクラブにくらべて非常に良い。
- ・どこのクラブも熱心なロータリアンが7割、熱心でない会員が3割ぐらいではないか。
- ・大企業のサラリーマンであれば、あまり熱心にロータリー活動に参加出来ないという事もご理解いただきたい。
- ・毎週の例会への参加もかなりハードである。会員増強にいろいろ声も掛けるが、そこがネックである。会員増強もそうだが、退会防止にいかにか努めるか。
- ・一度退会した人または退会する時にキチッと挨拶なりしてもらい、いつでも帰ってきやすい環境にすべき、どこのロータリークラブもやめる人に対して、冷たいのでは？退会届が出て、すぐ受理せず、しばらく様子を見て保留にしてはどうか？
- ・会員増強は解るが、過度の増強はロータリーの質の低下につながるのでは？
- ・親クラブである池袋ロータリークラブの雰囲気も、身がひきしまる感じで、そういうクラブの雰囲気も良いのでは？
- ・豊島東ロータリークラブが出来た時に、池袋と違ったオープンな雰囲気みんなで話合って決める。一部の人、すべてを決める様な事のないクラブにしようという事がスタートであった、その事が今も続いている、会員が常に平等である。
- ・合併に向かって、まずは自分のクラブの中で十分に時間をかけて論議をすべき。
- ・いずれにしても、今のままではたちいかないという事は会員全員が認識をしている。

まとめ

在籍年数の永い会員と短い会員でも同じクラブの中でも、合併に対する認識がかなり違う様である。在籍年数の永い会員は現在の豊島東ロータリークラブの雰囲気が変わる事が、好ましく思えない。クラブの中で、時間をかけて充分討議をする事、その上で他クラブとの話し合いを進めていいのでは、すぐに実行できる事ではないので、自間をかけて進める必要がある。

